

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

4.5.6
工

法

(11) 防水形複層塗材Eは、次による。

分 類	S K K 該 当 製 品
防水形複層塗材E	レナフレンド、レナエクセレント、 ダンツークリーン、ダンツークート、 レナフレンドローラー用、 レナエクセレントローラー用、 ダンツークリーンローラー用、 ダンツークートローラー用

- (ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材又は上塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。及び、2液形上塗材は、薄める前に基剤と硬化剤を仕上塗材の製造所の指定の割合で混ぜ合わせる。
- (イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。
- (ウ) 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等に、はけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付ける。
- (エ) 主材塗りは、次による。
- (a) 基層塗りは、2回塗りとし、だれ、ピンホール及び塗残しのないよう下地を覆うように塗り付ける。
- (b) 模様塗りは、次による。
- ① 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。
- ② ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。
- (オ) 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

防水形複層塗材E (凸部処理、凹凸状/吹付け)

レナフレンド (汎用標準仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3	レナフレンド主材★	0.9~1.2	1
				主材基層	レナフレンド主材★	1.7~2.0	2
				主材模様	レナフレンド主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例: 水性弾性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
3. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
4. 上塗材については、下記【S K K推奨各種上塗材】を参考に、適切な製品を選択してください。
5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

【S K K推奨各種上塗材】(レナフレンド) ※艶有りのみ

		樹脂	製品名
		弾性	水系
ウレタン系	水性弾性コンポウレタン★		
	水性弾性クールテクトSi★		
アクリルシリコン系	水性弾性コンポシリコン★		
	水性弾性セラミシリコン★		
	水性弾性セラタイトSi★		
弱溶剤系			エスケー弾性プレミアムシリコン★
	ふっ素系		水性弾性セラタイトF★(注)1
			弾性スーパーセラタイトF★(注)1
	ウレタン系		弾性クリーンマイルドウレタン★
	アクリルシリコン系		弾性クリーンマイルドシリコン★
ふっ素系		弾性クリーンマイルドフッソ★	

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

レナエクセレント (高弾性壁面防水仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3	レナエクセレント主材★	0.9~1.2	1
				主材基層	レナエクセレント主材★	1.7~2.0	2
				主材模様	レナエクセレント主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例: 水性弾性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

(注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。

2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
3. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
4. 上塗材については、下記【S K K推奨各種上塗材】を参考に、適切な製品を選択してください。
5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

【S K K推奨各種上塗材】(レナエクセレント) ※艶有りのみ

		樹脂	製品名
弾 性	水 系	アクリル系	S K 水性E Lコート★
		ウレタン系	水性弾性コンポウレタン★ 水性弾性コンポリシリコン★
		アクリルシリコン系	水性弾性セラミシリコン★ 水性弾性セラタイトSi★
			エスケー弾性プレミアムシリコン★
	弱溶剤系	ふっ素系	水性弾性セラタイトF★(注)1
		ウレタン系	弾性クリーンマイルドウレタン★
		アクリルシリコン系	弾性クリーンマイルドシリコン★
		ふっ素系	弾性クリーンマイルドフッソ★

(注)1. 専用の中塗材が必要です。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

ダンツークリーン (超低汚染透湿弾性仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	ダンツークリーン下塗材★	0.10~0.15	1~2
				増塗材(注)2	ダンツークリーン主材★	0.9~1.2	1
				主材基層(注)3	ダンツークリーン主材★	1.7~2.0	2
				主材模様(注)3	ダンツークリーン主材★	0.9~1.2	1
				上塗材	ダンツークリーン上塗材★	0.25~0.35	2

(注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツークシーラーEPO★」をご使用ください。

2. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
3. 「ダンツークリーン主材★」の所要量は、透湿性能を確保する場合は、主材基層で1.0~1.4kg/m² (塗り回数1)、主材模様で0.8~1.0kg/m² (塗り回数1) としてください。
4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

ダンツーコート (透湿弾性仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	ダンツシーラー★	0.15~0.20	1~2
				増塗材(注)2	ダンツーコート主材★	0.9~1.2	1
				主材基層(注)3	ダンツーコート主材★	1.7~2.0	2
				主材模様(注)3	ダンツーコート主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例: 水性ダンツーコート上塗材★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツキシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
 3. 「ダンツーコート主材★」の所要量は、透湿性を確保する場合は、主材基層で1.0~1.4kg/m² (塗り回数1)、主材模様で0.8~1.0kg/m² (塗り回数1) としてください。
 4. 上塗材については、下記〔S K K 推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔S K K 推奨各種上塗材〕 (ダンツーコート) ※艶有りのみ

		樹脂	製品名
弾性	水系	ウレタン系	水性ダンツーコート上塗材★
		アクリルシリコン系	水性ダンツーコート上塗材Si★
	弱溶剤系	ふっ素系	水性弾性セラタイトF★(注)1
		ふっ素系	弾性スーパーセラタイトF★(注)1
		弾性クリーンマイルドフッソ★	

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
 2. 「水性ダンツーコート上塗材★」、「水性ダンツーコート上塗材Si★」以外の上塗材の場合、透湿性能は低くなります。詳しくは別途、お問い合わせください。
 3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

防水形複層塗材E (ゆず肌状/ローラー塗り)

レナフレンドローラー用 (汎用標準仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーEコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3	レナフレンドローラー用主材★	0.9~1.2	1
				主材基層	レナフレンドローラー用主材★	1.7~2.0	2
				主材模様	レナフレンドローラー用主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例: 水性弾性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
 4. 上塗材については、次頁〔S K K 推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

〔SKK推奨各種上塗材〕(レナフレンドローラー用) ※艶有りのみ

		樹 脂		製 品 名	
		弾 性	水 系	アクリル系	
ウレタン系				水性弾性コンポウレタン★ 水性弾性クールテクトSi★ 水性弾性コンボシリコン★	
アクリルシリコン系				水性弾性セラミシリコン★ 水性弾性セラタイトSi★ エスケー弾性プレミアムシリコン★	
ふっ素系				水性弾性セラタイトF★(注)1 弾性スーパーセラタイトF★(注)1	
弱溶剤系	ウレタン系			弾性クリーンマイルドウレタン★	
		アクリルシリコン系		弾性クリーンマイルドシリコン★	
		ふっ素系		弾性クリーンマイルドフッソ★	

(注) 1. 専用の中塗材が必要です。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

レナエクセレントローラー用 (高弾性壁面防水仕上げ)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	工 程	SKK 該 当 製 品	所 要 量 (kg/m ²)	塗 り 回 数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	ゆざ肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				増塗材(注)3	レナエクセレントローラー用主材★	0.9~1.2	1
				主材基層	レナエクセレントローラー用主材★	1.7~2.0	2
				主材模様	レナエクセレントローラー用主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例: 水性弾性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

(注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。

2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。

3. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。

4. 上塗材については、下記〔SKK推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。

5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材(希釈する前)の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔SKK推奨各種上塗材〕(レナエクセレントローラー用) ※艶有りのみ

		樹 脂		製 品 名	
		弾 性	水 系	アクリル系	
ウレタン系				水性弾性コンポウレタン★ 水性弾性コンボシリコン★	
アクリルシリコン系				水性弾性セラミシリコン★ 水性弾性セラタイトSi★ エスケー弾性プレミアムシリコン★	
ふっ素系				水性弾性セラタイトF★(注)1	
弱溶剤系	ウレタン系			弾性クリーンマイルドウレタン★	
		アクリルシリコン系		弾性クリーンマイルドシリコン★	
		ふっ素系		弾性クリーンマイルドフッソ★	

(注) 1. 専用の中塗材が必要です。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

ダンツークリーンローラー用 (超低汚染透湿弾性仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	ダンツークリーン下塗材★	0.10~0.15	1~2
				増塗材(注)2	ダンツークリーンローラー用主材★	0.9~1.2	1
				主材基層(注)3	ダンツークリーンローラー用主材★	1.7~2.0	2
				主材模様(注)3	ダンツークリーンローラー用主材★	0.9~1.2	1
				上塗材	ダンツークリーン上塗材★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツークシーラー-EPO★」をご使用ください。
 2. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
 3. 「ダンツークリーンローラー用主材★」の所要量は、透湿性能を確保する場合は、1.5~1.8kg/m² (塗り回数2) としてください。
 4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

ダンツークコートローラー用 (透湿弾性仕上げ)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	防水形 複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	ダンツークシーラー★	0.15~0.20	1~2
				増塗材(注)2	ダンツークコートローラー用主材★	0.9~1.2	1
				主材基層(注)3	ダンツークコートローラー用主材★	1.7~2.0	2
				主材模様(注)3	ダンツークコートローラー用主材★	0.9~1.2	1
				上塗材(注)4	例： 水性ダンツークコート上塗材★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツークシーラー-EPO★」をご使用ください。
 2. 下地の状況によっては、増塗材を増量してください。
 3. 「ダンツークコートローラー用主材★」の所要量は、透湿性能を確保する場合は、1.5~1.8kg/m² (塗り回数2) としてください。
 4. 上塗材については、下記 [S K K 推奨各種上塗材] を参考に、適切な製品を選択してください。
 5. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 6. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

[S K K 推奨各種上塗材] (ダンツークコートローラー用) ※艶有りのみ

弾性	水系	樹脂	製品名
		ウレタン系	水性ダンツークコート上塗材★
		アクリルシリコン系	水性ダンツークコート上塗材Si★
		ふっ素系	水性弾性セラタイトF★(注)1 弾性スーパーセラタイトF★(注)1
	弱溶剤系	ふっ素系	弾性クリーンマイルドフッソ★

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
 2. 「水性ダンツークコート上塗材★」、「水性ダンツークコート上塗材Si★」以外の上塗材の場合、透湿性能は低くなります。詳しくは別途、お問い合わせください。
 3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事(5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

使用可能な下地調整塗材(レナフレンド、レナフレンドローラー用)

下地	下地調整塗材	S K K 該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうブラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	マイルドシーラーEPO★ ミラクシーラーEPO★ エスケハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	マイルドシーラーEPO★ ミラクシーラーEPO★ エスケハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

使用可能な下地調整塗材(レナエクセレント、レナエクセレントローラー用)

下地	下地調整塗材	S K K 該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうブラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	エスケハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	エスケハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

使用可能な下地調整塗材 (ダンツークリーン、ダンツークリーンローラー用)

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうブラスター プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ダンツークリーン下塗材★	仕上塗材の下塗材省略可
	仕上塗材の下塗材で代用	ツークシーラー-EPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	ダンツークシーラー★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ツークシーラー-EPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

使用可能な下地調整塗材 (ダンツークコート、ダンツークコートローラー用)

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうブラスター	仕上塗材の下塗材で代用	ダンツークシーラー★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ツークシーラー-EPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	ダンツークシーラー★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ツークシーラー-EPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。